

調査レポート

アジア経済概況(2014年3・4月)

【目次】

. 中華圏・韓国

- 1. 中国経済の概況・・・景気回復のペースは緩やかなものにとどまっている p.1
- 2. 中国の主要指標解説:生産者物価に漸く下げ止まりの兆し p.3
- 3. 台湾経済の概況・・・1-3月期の成長率は前年比3.1%と小幅加速 p.4
- 4. 韓国経済の概況・・・1-3月期の成長率は前年比3.9%と小幅加速 p.5

. ASEAN・インド

- 1. タイ経済の概況・・・1-3月期の成長率は前年比0.6%に鈍化 p.6
- 2. インドネシア経済の概況・・・1-3月期の成長率は5.2%に減速 p.7
- 3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 p.8
- 4. ベトナム経済の概況・・・緩やかながら持ち直しの動きがみえる p.9
- 5. インド経済の概況・・・内需の低迷が続いている p.10

. アジア通貨・株価動向 p.11

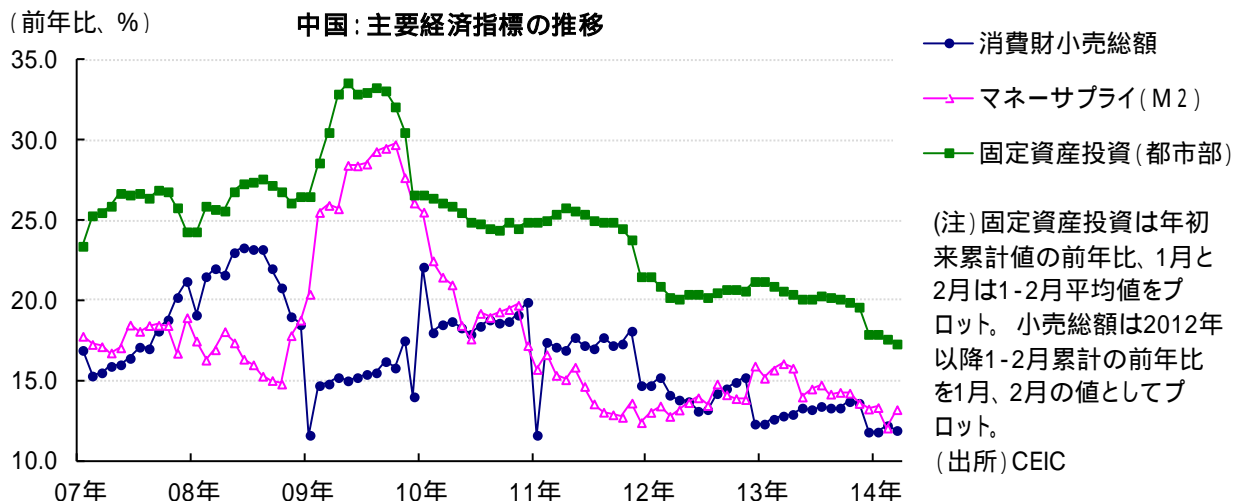
三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

調査部 研究員 野田 麻里子
〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2
TEL:03-6733-1070

・ 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- ・ 景気回復のペースは緩やかなものにとどまっている。
- ・ 1-3月期の実質GDP成長率は前年比7.4%と前期（同7.7%）から0.3%ポイント鈍化した。政府が掲げる7.5%前後の範囲には収まっているものの、季調済前期比で1.4%（年率換算で5.7%）と前期の同1.7%（年率換算7.0%）に比べて成長テンポは一段と緩やかになっている。需要項目別の前年比成長寄与度をみると、消費は5.7%（2013年通年3.9%）と堅調だったが、投資（2013年通年4.1% 今期3.1%）と外需（同0.3% 同1.4%）が不振でこれらが成長率を押し下げている。
- ・ 一方で4月の製造業購買担当者指数（PMI）は50.4と前月（50.3）から0.1ポイント上昇した。2012年10月以降、景気の拡大と縮小の分岐点である50を19カ月連続で上回っており、緩やかながらも景気回復が続いていることが示唆されている。
- ・ 消費、投資、輸出、生産などの主要指標の1-3月期実績は、軒並み前期ないし前年実績を下回った。政府による生産能力の調整が継続する中で1-4月の固定資産投資は前年比17.3%増と1-3月期の同17.6%増からさらに0.3%ポイント鈍化した。また4月の消費財小売総額も倭約令の影響などから前年比11.9%増と1-3月期の同12.2%増から小幅減速した。一方、輸出は先進国景気が持ち直す中で1-3月期の同3.5%減から4月同0.8%増と小幅ながらプラスに転じた。こうした中で、鉱工業生産は1-3月期、4月とも同8.7%増と横ばいで推移している。
- ・ 4月の消費者物価上昇率は、食品価格が3月の前年比4.1%の上昇から同2.3%に安定したことから、同1.8%と2%を下回った。4月の生産者物価は過剰設備の削減がなかなか進まない中で、前年比2.0%と依然として前年比マイナスが続いている。



【中国・香港の主要経済指標】

			2011年	2012年	2013年	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2月	14/3月	14/4月	
中国	GDP	実質GDP成長率	前期比%				1.5	1.8	2.3	1.7	1.4			
			前年比%				7.7	7.5	7.8	7.7	7.4			
		(累計ベース)	前年比%	9.3	7.7	7.7	7.7	7.6	7.7	7.7	7.4			
		名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	17.8	9.8	9.5	9.6	8.8	9.4	9.5	7.9			
	消費	消費財小売総額	前年比%	17.1	14.2	13.2	12.4	13.0	13.3	13.5	12.2	11.8	12.2	11.9
		うち都市部	前年比%	17.2	14.2	13.0	12.2	12.7	13.0	13.4	12.1	11.7	12.1	11.7
		うち農村部	前年比%	16.6	14.5	14.8	14.0	14.6	15.0	14.7	12.9	12.8	12.9	13.2
		自動車販売台数	前年比%	2.5	4.3	13.9	13.1	11.4	13.6	17.4	9.2	17.8	6.6	8.8
		うち乗用車(セダン、SUV他)	前年比%	5.2	7.1	15.7	17.2	10.4	14.5	20.3	10.1	18.0	7.9	11.6
		消費者自信指数	期中平均	103.3	102.4	101.2	105.1	99.9	98.3	101.4	104.0	103.1	107.9	104.8
		消費者期待指数	期中平均	106.6	106.9	105.5	110.4	103.8	102.0	105.7	108.1	107.0	112.3	107.4
	投資	固定資産投資(都市部・500万元以上;年初来累計)	前年比%	23.8	20.6	19.6	20.9	20.1	20.2	19.6	17.6	17.9	17.6	17.3
		うち不動産・居住用建物	前年比%	29.7	22.1	20.3	24.1	22.9	21.0	20.3	16.3	19.1	16.3	15.4
		うち国内企業	前年比%	24.7	21.2	20.5	21.7	21.3	21.0	20.5	19.0	19.2	19.0	18.4
		うち製造業	前年比%	31.8	22.0	18.5	18.7	17.1	18.5	18.5	15.2	15.1	15.2	15.2
		うち鉄鋼	前年比%	14.6	2.0	2.1	7.7	3.3	2.6	2.1	7.5	0.1	7.5	6.7
		うち輸送機械(自動車)	前年比%	27.2	32.8	15.0	15.3	14.4	15.4	15.0	13.1	20.7	13.1	11.3
		うち電気機械	前年比%	44.6	4.8	10.7	5.5	5.9	8.5	10.7	10.3	8.7	10.3	15.7
		うち情報通信機器	前年比%	34.2	12.9	20.2	19.7	22.4	21.7	20.2	13.3	17.5	13.3	15.1
		直接投資契約件数(累計ベース)	前年比%	1.1	10.1	8.6	10.4	9.2	9.3	8.6	0.7	5.2	0.7	0.4
		直接投資実行額(累計ベース)	前年比%	8.1	2.3	2.9	1.4	4.9	6.2	2.9	5.5	10.4	5.5	5.0
		不動産景気指数	期中平均	101.6	95.6	97.3	97.7	97.3	97.3	96.8	96.7	96.9	96.4	95.8
	貿易及び外貨準備	貿易収支	10億ドル	154.9	230.3	259.0	43.5	65.7	61.5	90.5	16.6	23.0	7.7	18.5
		輸出(ドルベース)	前年比%	20.3	7.9	7.8	18.3	3.7	3.9	7.4	3.5	18.1	6.6	0.8
		輸入(ドルベース)	前年比%	24.9	4.3	7.2	8.5	5.0	8.4	7.2	2.0	10.4	11.3	0.7
		対米貿易収支	10億ドル	202.3	218.9	215.9	41.0	51.5	60.3	63.1	38.7	7.0	13.2	17.6
		対日貿易収支	10億ドル	46.3	26.2	12.0	1.0	4.3	5.2	1.5	0.1	2.5	0.0	1.4
外貨準備	期末10億ドル	3181.1	3311.6	3821.3	3442.6	3496.7	3662.7	3821.3	3948.1	3913.7	3948.1			
生産	鉱工業付加価値額(累計ベース)	前年比%	13.9	10.0	9.7	9.5	9.3	9.6	9.7	8.7	8.6	8.7	8.7	
	うち国有企業	前年比%	9.9	6.4	6.9	5.2	5.2	6.3	6.9	4.5	4.4	4.5	4.8	
	うち株式会社企業	前年比%	15.8	11.8	11.0	11.3	10.9	11.0	11.0	10.0	9.9	10.0	10.1	
	うち外商・港台企業	前年比%	10.4	6.3	8.3	6.9	7.4	7.9	8.3	7.8	7.8	7.8	7.6	
	発電量	前年比%	10.9	4.2	8.3	4.2	6.9	11.6	10.1	7.8	18.6	7.9	6.4	
	製造業購買担当者指数(PMI)	%	51.4	50.8	50.8	50.5	50.5	50.8	51.3	50.3	50.2	50.3	50.4	
	うち新規受注	%	51.9	50.9	51.7	51.3	51.3	51.9	52.3	50.7	50.5	50.6	51.2	
	うち雇用	%	50.2	49.4	48.9	48.4	48.8	49.2	49.2	48.2	48.0	48.3	48.3	
新規輸出受注	%	50.0	49.3	49.4	48.9	48.6	50.0	50.3	49.2	48.2	50.1	49.1		
所得雇用	都市一人当り所得(累計ベース)	前年比%	14.0	12.4	9.6	8.6	9.0	9.3	9.6					
	労働力市場求人倍率	期末	1.04	1.08	1.10	1.10	1.07	1.08	1.10	1.11				
物価	第二次産業/全産業求人比率	期末%	40.4	40.8	40.3	43.4	41.8	40.9	40.3	44.2				
	消費者物価指数	前年比%	5.4	2.7	2.6	2.4	2.4	2.8	2.9	2.3	2.0	2.4	1.8	
	うち食品	前年比%	11.8	4.9	4.7	3.9	4.0	5.3	5.5	3.5	2.7	4.1	2.3	
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	2.4	1.9	1.5	1.6	1.6	1.4	1.4	1.3	1.3	1.2	1.2	
	生産者物価指数	前年比%	6.1	1.7	1.9	1.7	2.7	1.7	1.4	2.0	2.0	2.3	2.0	
金融	マネーサプライ(M2)	前年比%	13.6	13.8	13.6	15.7	14.0	14.2	13.6	12.1	13.3	12.1	13.2	
	インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	3.27	2.87	3.39	2.42	4.08	3.28	3.78	2.89	2.89	2.32	2.47	
	株価指数(上海総合)	期末	2,199	2,269	2,116	2,237	1,979	2,175	2,116	2,033	2,056	2,033	2,026	
	為替レート(元/ドル)	期中平均	6.46	6.31	6.20	6.28	6.21	6.17	6.13	6.12	6.11	6.14	6.16	
為替レート(円/元)	期中平均	12.3	12.6	15.8	14.7	15.9	16.1	16.4	16.8	16.8	16.7	16.6		
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	4.8	1.5	2.9	2.9	3.0	3.0	2.9	2.5			
		うち民間消費	前年比%	8.4	4.1	4.3	6.3	4.7	2.7	3.6	2.0			
		うち固定資本形成	前年比%	10.2	6.8	3.3	3.0	7.6	2.7	5.3	3.0			
		名目GDP成長率	前年比%	8.9	5.3	4.3	4.8	3.6	4.6	4.4	4.6			
	消費	小売販売数量指数	前年比%	18.5	7.1	10.8	14.0	14.9	7.4	7.0	2.7	1.8	3.6	
	貿易	貿易収支	10億HKドル	426	478	503	111	137	119	137	124	54	50	55
		輸出(香港ドルベース)	前年比%	10.2	2.9	3.6	3.9	2.4	3.3	4.8	0.7	1.3	3.4	1.6
輸入(香港ドルベース)		前年比%	11.9	3.9	3.8	4.9	3.5	2.7	4.4	2.1	6.8	3.2	2.4	
物価	消費者物価指数	前年比%	5.3	4.1	4.3	3.7	4.0	5.3	4.3	4.2	3.9	3.9	3.6	
金融	マネーサプライ(M3)	期末%	12.8	10.3	11.7	10.6	11.5	12.1	12.5	11.6	12.9	12.2		
	ハンセン指数	期末ポイント	18,434	22,657	23,306	22,300	20,803	22,860	23,306	22,151	22,837	22,151	22,134	

(出所) CEIC (注) 固定資産投資統計の対象基準は2011年以降投資計画額50万元から500万元に変更。

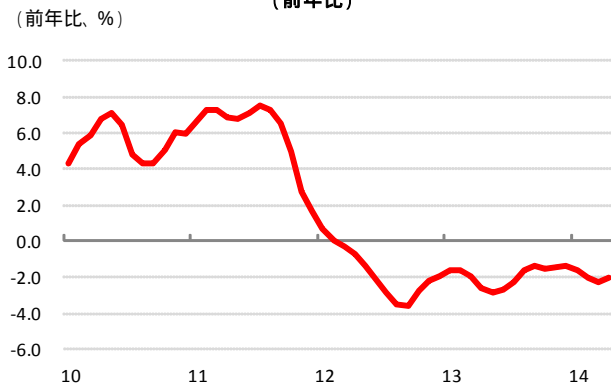
2. 中国の主要指標解説：生産者物価に漸く下げ止まりの兆し

生産者物価の前年割れが続いている。4月も前年比 - 2.0%となり、これで2012年3月以降26カ月連続して前年比マイナスである(図表1)。また、前月比ベースでも3月の - 0.3%から4月同 - 0.2%とマイナス幅は0.1%ポイント縮小したものの依然、マイナスが続いている(図表2)。

生産者物価の下げ幅が大きい品目は鉄鋼、非鉄金属など政府が過剰生産能力の解消のため新規の生産能力拡大を禁止したり、遅れた既存設備の淘汰、企業の再編などの方針が発表されている業種関連の品目である(図表3)。

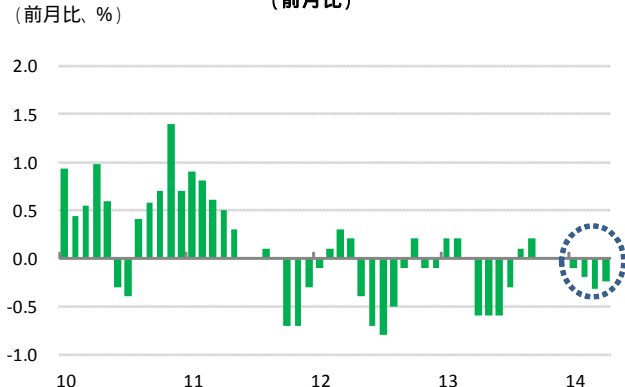
過剰設備の代表的な産業である鉄鋼については、足元、年初の在庫の大幅増加の反動で在庫の増加幅が縮小する一方、出荷が持ち直し傾向にあり、出荷在庫バランスは改善傾向にある(図表4)。4月に政府が鉄道建設目標の引き上げや低所得者用住宅の改造といったミニ景気対策を打ち出したこと、老朽設備の廃棄など過剰設備削減の具体的な動きがみられることなどがその要因とみられる。長らく低迷してきた生産者物価だが、漸く持ち直しの兆しがみえてきたといえるかもしれない。

図表1. 中国の生産者物価の推移
(前年比)



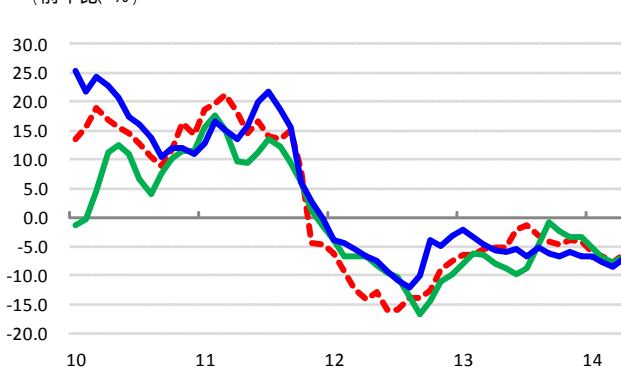
(出所)CEIC

図表2. 中国の生産者物価の推移
(前月比)



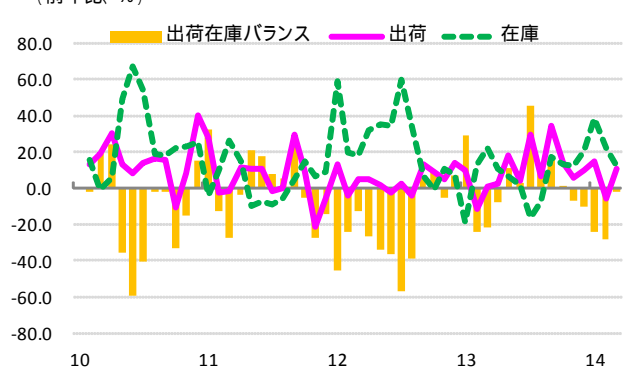
(出所)CEIC

図表3. 中国の業種別生産者物価の推移
(前年比、%)



(出所)CEIC
- - - 化学繊維 — 鉄鋼 — 非鉄金属

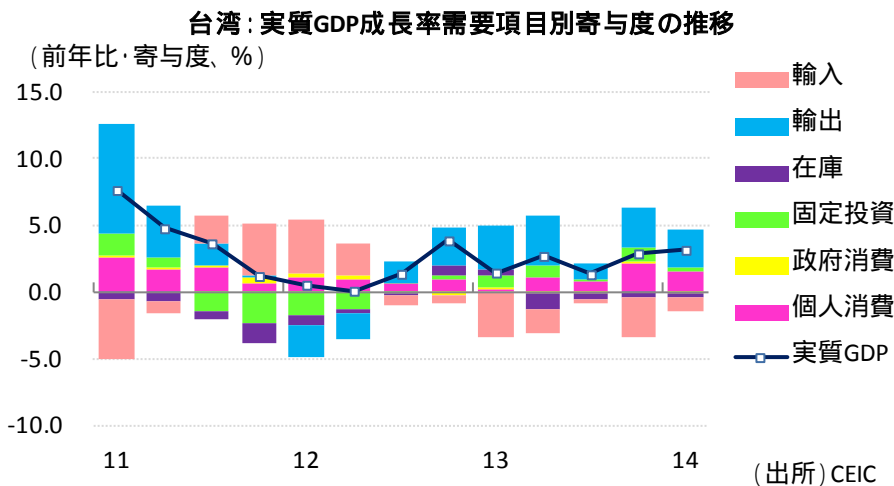
図表4. 鉄鋼の出荷在庫状況の推移
(前年比、%)



(注1) 出荷は販売で代替。年初来累計データから月次を推計。
 (注2) 出荷在庫バランスは出荷(前年比) - 在庫(前年比)で算出。
 (注3) 対象は大規模並びに中堅企業。
 (出所)CEIC

3. 台湾経済の概況

- ・景気は緩やかな持ち直し基調にある。
- ・2014年1-3月期の実質GDP成長率は前年比3.1%と前期(同2.9%)から小幅加速、2012年10-12月期(同3.8%)以来5四半期ぶりに3%台に持ち直した。需要項目別にみると、投資は大幅に拡大した前期の反動から前年比1.8%増にとどまったものの、消費が株高などを背景に同2.7%増となったほか、輸出も先進国景気の持ち直しから同3.9%増と引き続き堅調だった。
- ・4月の輸出受注は、半導体需要の拡大を背景に主力の電子製品を中心に前年比8.9%増と伸び率が拡大した。輸出は当面、好調が続くとみられる。
- ・消費者物価は食品価格の上昇から3月、4月とも前年比1.6%とやや高い水準で推移している。天候不順や家畜の疫病により果物や食肉の価格が高騰した。電気料金も上げられたが景気の持ち直しが緩やかなため、インフレ加速には至っていない。



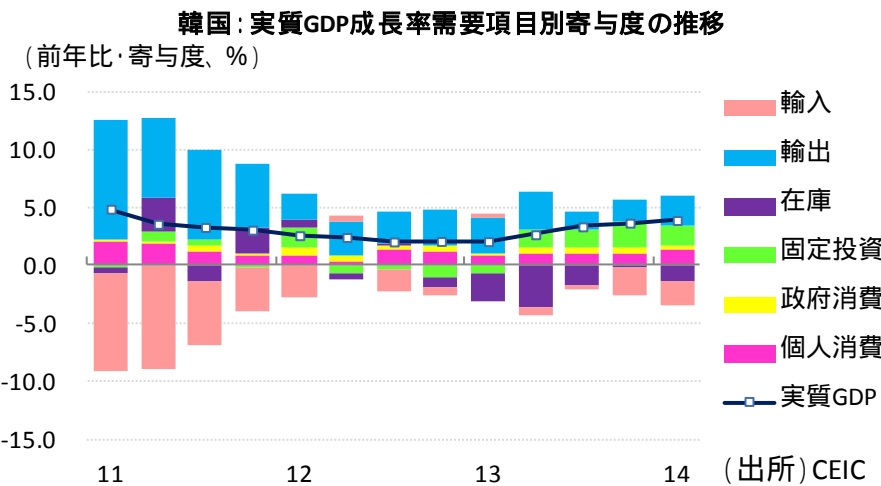
【台湾の主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2月	14/3月	14/4月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.6	0.9	0.0	1.8	0.5			
	(前年比)	4.2	1.5	2.1	1.4	2.7	1.3	2.9	3.1			
	うち個人消費	3.1	1.6	2.0	0.4	2.0	1.5	4.3	2.7			
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	2.3	4.0	4.7	6.4	5.4	0.6	6.9	1.8			
生産	鉱工業生産(yoy)	4.4	0.2	0.7	1.0	0.6	0.3	2.0	2.4	6.8	3.2	4.8
	卸小売販売指数(yoy)	0.5	0.1	2.6	2.9	1.7	2.4	3.6	1.9	2.5	1.1	4.4
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	26.8	30.7	35.5	4.6	10.0	10.2	10.7	6.5	1.6	2.0	2.5
	輸出(yoy)	12.3	2.3	1.4	2.4	2.4	0.8	1.8	1.0	7.9	2.0	6.2
	輸出受注(yoy)	7.2	1.1	0.4	1.7	1.7	1.0	3.8	2.7	5.7	5.9	8.9
	輸入(yoy)	12.0	3.9	0.2	4.4	3.6	3.4	2.1	1.6	4.9	7.5	5.8
	経常収支(10億ドル)	41.7	50.7	57.7	11.3	14.2	15.0	17.3	15.5			
	外貨準備高(10億ドル)	386	403	417	402	407	413	417	419	418	419	421
雇用	失業率(季調値)	4.4	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0
物価	消費者物価(yoy)	1.4	1.9	0.8	1.8	0.8	0.0	0.6	0.8	0.0	1.6	1.6
金融	M2(yoy)	4.8	3.5	5.8	3.9	5.3	5.7	5.8	5.9	5.8	5.9	6.2
	株価指数(加権指数)	7,072	7,700	8,612	7,919	8,062	8,174	8,612	8,849	8,640	8,849	8,791
	短期金利(オールナイト)	0.34	0.42	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39
	為替レート(NTドル/ドル)	29.5	29.6	29.8	29.5	30.0	30.0	29.6	30.4	30.4	30.4	30.3
	為替レート(円/NTドル)	2.70	2.69	3.28	3.12	3.29	3.30	3.39	3.38	3.36	3.36	3.39

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 景気は持ち直し基調にある。
- ・ 2014年1-3月期の実質GDP成長率は前年比3.9%と前期(同3.7%)を0.2%ポイント上回った。輸出が前年比4.6%増と一段と増加したほか消費も同2.6%増と好調を維持した。投資は前期(同7.8%増)の反動から伸び率は鈍化(同6.2%)した。
- ・ 輸出は4月も米国(前年比19.3%増)向けを中心に同9.0%増と好調であった。
- ・ 韓国銀行(中銀)は5月9日に12カ月連続となる政策金利の据え置き(2.5%)を決めた。中銀は4月初旬の改訂で今年の成長率見通しを1月時点の3.8%から4.0%に上げているが、その後も世界経済は先進国を中心に緩やかな回復基調にあり、国内景気も堅調な輸出にけん引されて持ち直しが続くともみている。ただし、4月16日に発生したフェリー沈没事故を受けた国内の自粛ムードが国内需要を抑制する可能性もあるとして、その影響を注意深く見守るとしている。



【韓国の主要経済指標】

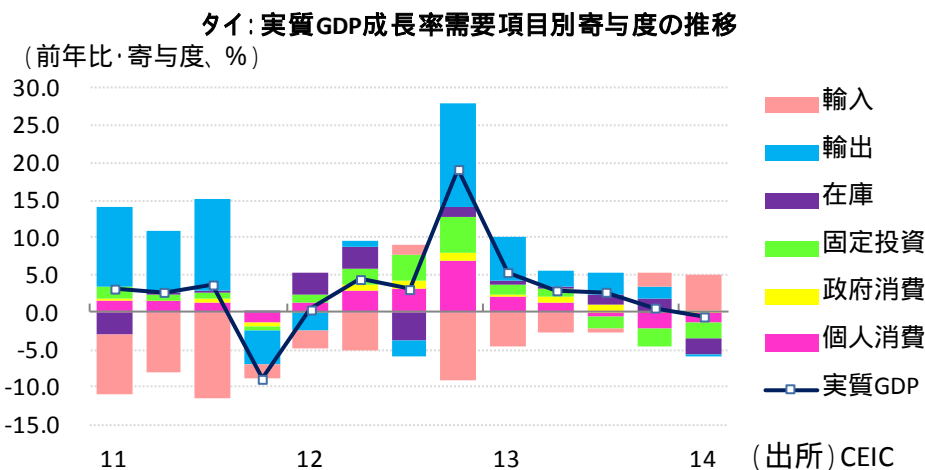
		2011年	2012年	2013年	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2月	14/3月	14/4月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.6	1.0	1.1	0.9	0.9			
	(前年比)	3.7	2.3	3.0	2.1	2.7	3.4	3.7	3.9			
	うち個人消費	2.9	1.9	2.0	1.7	2.1	2.1	2.2	2.6			
	うち固定資本形成	0.8	0.5	4.2	2.6	5.0	5.9	7.8	6.2			
	うち設備	4.7	0.1	1.5	12.7	3.9	1.5	10.9	8.0			
生産	鉱工業生産(yoy)	6.0	1.4	0.2	1.2	0.0	0.2	1.7	1.1	4.1	2.7	
消費	小売売上高(数量,yoy)	4.5	2.4	0.8	0.3	1.2	0.6	1.2	2.5	0.4	2.1	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	30.8	28.3	44.0	5.6	14.4	10.8	13.3	5.2	0.9	3.5	4.5
	輸出(yoy)	19.0	1.3	2.1	0.3	0.7	2.8	4.7	1.7	1.4	3.7	9.0
	輸入(yoy)	23.3	0.9	0.8	2.9	2.8	0.3	2.5	2.1	3.9	3.6	5.0
	経常収支(10億ドル)	18.7	50.8	79.9	10.5	20.8	23.8	24.8	15.1	4.5	7.3	
	外貨準備高(10億ドル)	306	327	346	327	326	337	346	354	352	354	356
雇用	失業率(季調値)	3.4	3.2	3.1	3.2	3.1	3.1	3.0	3.5	3.9	3.5	3.7
物価	消費者物価(yoy)	4.0	2.2	1.3	1.6	1.2	1.4	1.1	1.1	1.0	1.3	1.5
金融	マネーサプライ(New M2,yoy)	5.5	4.8	4.6	4.8	4.9	4.2	4.6	5.0	5.7	5.0	
	株価指数(総合)	1,826	1,997	2,011	2,005	1,863	1,997	2,011	1,986	1,980	1,986	1,962
	CDレート(3ヵ月物)	3.44	3.30	2.72	2.83	2.73	2.67	2.65	2.65	2.65	2.65	2.65
	為替レート(ウォン/ドル)	1,108	1,127	1,095	1,085	1,123	1,111	1,062	1,069	1,071	1,071	1,045
	為替レート(円/100ウォン)	7.2	7.1	8.9	8.5	8.8	8.9	9.6	9.6	9.6	9.6	9.9

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・政局の混乱から景気の鈍化が続いている。
- ・2014年1-3月期の実質GDP成長率は前年比0.6%と大洪水に見舞われた2011年10-12月期(同8.9%)以来9四半期ぶりにマイナス成長となった。需要項目別には公務員給与の引上げにより前年比2.9%増となった政府消費以外の全ての項目が前年比マイナスとなった。個人消費は、新車購入支援策終了の反動と政局混乱を受けた消費者マインドの悪化から同3.0%減と落ち込んだ。投資も公共投資の執行の遅れや企業の様子見姿勢から同9.8%減と大幅に減少。輸出も同0.4%減と減少したが先進国景気の持ち直しを背景にマイナス幅は相対的に小幅にとどまっている。
- ・国家経済社会開発委員会は今年の成長率見通しを2月時点の3.0~4.0%から1.5~2.5%に下方修正した。先行き不透明感による景気の一段の悪化が懸念されている。



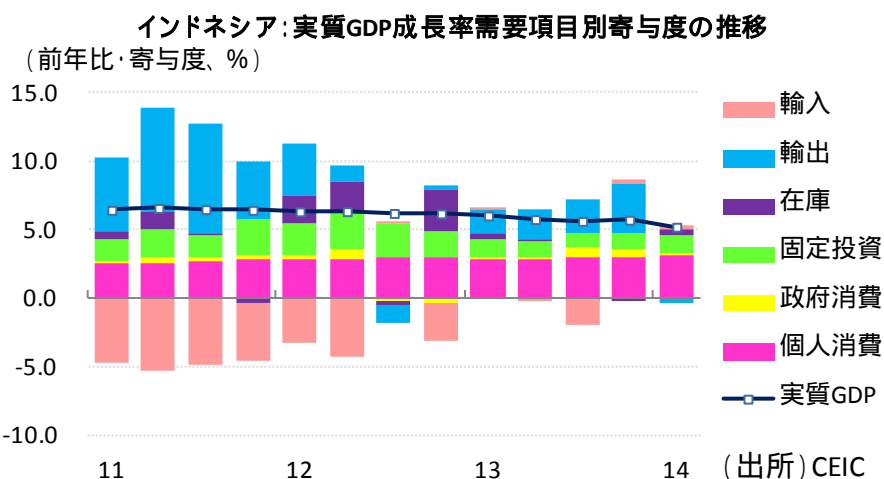
【タイの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2月	14/3月	14/4月
GDP (yoy)	実質GDP	0.1	6.5	2.9	5.4	2.9	2.7	0.6	0.6			
	個人消費	1.3	6.7	0.2	4.4	2.5	1.2	4.1	3.0			
	総固定資本形成	3.3	13.2	2.0	5.8	4.7	6.3	11.4	9.8			
生産	製造業生産指数(yoy)	8.5	2.2	3.2	3.0	4.9	3.5	7.1	7.0	4.7	10.4	
消費	個人消費指数(yoy)	3.7	5.6	0.3	3.8	0.7	2.2	0.9	1.8	2.6	1.4	
投資	民間企業投資指数(yoy)	8.1	15.2	0.3	13.0	1.9	3.6	6.9	7.3	7.4	6.4	
輸出入 BOP ^A -ス	貿易収支(10億 ^{ドル})	17.0	6.0	6.4	1.6	1.0	5.0	3.8	6.5	3.9	3.5	
	輸出(yoy)	14.3	3.1	0.2	4.1	1.9	1.8	1.0	0.8	2.2	2.7	
	輸入(yoy)	24.9	8.8	0.4	8.5	1.0	2.9	7.6	14.8	18.9	13.7	
国際収支	経常収支(10億 ^{ドル})	8.9	1.5	2.8	0.5	6.7	0.4	3.0	8.2	5.1	2.9	
	外貨準備高(10億 ^{ドル})	165.2	171.1	159.0	167.7	162.5	163.5	159.0	158.8	159.3	158.8	160.2
雇用	失業率(季調前)	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.6	0.9	0.9	0.9	0.9
物価	消費者物価(総合,yoy)	3.8	3.0	2.2	3.1	2.3	1.7	1.7	2.0	2.0	2.1	2.4
	消費者物価(コア,yoy)	2.4	2.1	1.0	1.5	1.0	0.7	0.8	1.2	1.2	1.3	1.7
金融	マネーサプライ(broad M,yoy)	15.1	10.4	7.3	9.5	10.2	7.1	7.3	6.4	7.4	6.4	
	株価指数(SET)	1,025	1,392	1,299	1,561	1,452	1,383	1,299	1,376	1,325	1,376	1,415
	1ヶ月間金利(3M)	3.12	3.08	2.69	2.86	2.75	2.60	2.52	2.34	2.39	2.25	2.18
	為替レート(円/US\$)	30.5	31.1	30.7	29.8	29.9	31.5	31.7	32.7	32.7	32.4	32.3
	為替レート(円/TH\$)	2.61	2.57	3.17	3.09	3.30	3.14	3.16	3.15	3.13	3.16	3.17

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

2. インドネシア経済の概況

- ・ 内需は底堅く推移しているが、未加工鉱物の禁輸措置により輸出が大幅に鈍化し、成長率を押し下げている。
- ・ 2014年1-3月期の実質GDP成長率は前年比5.2%と前期(同5.7%)から0.5%ポイント鈍化し、2009年7-9月期(同4.3%)以来、4年2カ月ぶりの低い成長率となった。主因は14年1月から実施された未加工鉱物の禁輸措置を受けた輸出の鈍化にある。輸出(GDPベース)は今期前年比0.8%減と前期(同7.4%増)に比べて大幅に落ち込んだ。一方、個人消費や固定投資は物価や為替の安定などを背景にそれぞれ前年比5.6%増、同5.1%増とわずかながらも前期を上回る伸び率であった。
- ・ インドネシア中銀は5月8日、物価の安定が維持され、経常収支の赤字も縮小傾向にあるとして6カ月連続となる政策金利の据え置き(7.50%)を決めた。また、今年の成長率見通しを禁輸措置により輸出の低迷が続くとの見方に基づき、3月時点の5.5~5.9%から5.1~5.5%に下方改訂した。



【インドネシアの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2月	14/3月	14/4月
GDP (yoy)	実質GDP	6.5	6.3	5.8	6.0	5.8	5.6	5.7	5.2			
	個人消費	4.7	5.3	5.3	5.2	5.1	5.5	5.3	5.6			
	総固定資本形成	8.3	9.7	4.7	5.5	4.5	4.5	4.4	5.1			
生産	製造業生産(yoy)	4.1	4.1	6.0	9.0	6.8	7.2	1.5	3.8	3.5	4.9	
	小売売上(yoy)	9.0	14.5	12.9	10.1	12.3	9.2	19.7	22.9	18.8	25.1	27.7
輸出入	貿易収支(10億ドル)	26.1	1.7	4.1	0.2	3.1	3.1	2.3	1.1	0.8	0.7	
	輸出(yoy)	28.9	6.6	3.9	6.4	5.8	6.9	3.3	2.4	2.5	1.2	
	(除く石油ガス,yoy)	24.8	5.5	2.0	3.3	2.1	5.6	2.6	2.2	4.4	3.9	
	輸入(yoy)	30.8	8.0	2.6	0.2	3.8	0.9	6.9	5.3	9.9	2.3	
国際収支	経常収支(10億ドル)	1.7	24.4	29.1	6.0	10.1	8.6	4.3	4.2			
	外貨準備高(10億ドル)	103.4	105.3	92.9	97.5	91.6	88.9	92.9	95.8	95.9	95.8	98.8
物価	消費者物価(yoy)	5.3	4.0	6.4	4.5	5.1	8.0	8.0	7.8	7.7	7.3	7.3
	マネーサプライ(M2,yoy)	16.4	15.0	12.7	14.0	11.8	14.6	12.7	10.0	10.9	10.0	
金融	株価指数(総合)	3,822	4,317	4,274	4,941	4,819	4,316	4,274	4,768	4,620	4,768	4,840
	中銀債金利(3カ月)	6.00	5.75	7.50	5.75	6.00	7.25	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50
	為替レート(比ドル)	8,773	9,419	10,563	9,695	9,818	10,938	11,800	11,755	11,634	11,404	11,532
	為替レート(円/100比)	0.91	0.85	0.93	0.95	1.01	0.90	0.86	0.87	0.88	0.90	0.89

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、製造業生産は2011年より新基準。

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標
【マレーシアの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2月	14/3月	14/4月
GDP (yoy)	実質GDP	5.2	5.6	4.7	4.2	4.5	5.0	5.1	6.2			
	個人消費	6.9	8.2	7.2	6.4	6.8	8.0	7.4	7.1			
	総固定資本形成	6.3	19.2	8.5	13.0	5.9	9.4	6.5	6.3			
生産	鉱工業生産(yoy)	1.2	4.4	3.3	0.1	5.1	5.5	2.8	4.8	6.8	4.4	
消費	自動車販売台数(yoy)	0.8	4.6	4.5	13.9	4.3	11.0	0.9	1.4	12.6	2.3	11.9
輸出入	貿易収支(10億 ^{ドル})	40.6	31.1	22.5	5.3	2.7	5.7	8.6	8.0	3.2	2.9	
	輸出(yoy)	15.0	0.3	0.4	3.3	4.0	3.7	5.0	3.6	5.2	2.6	
	輸入(yoy)	14.2	4.8	4.9	5.7	4.0	3.6	6.4	1.4	2.6	4.8	
国際収支	経常収支(10億 ^{ドル})	33.5	17.6	12.7	4.3	0.6	3.1	4.6	6.0			
	外貨準備高(10億 ^{ドル})	120	126	122	127	124	124	122	118	118	118	118
雇用	失業率(%)	3.1	3.0	3.1	3.2	3.0	3.1	3.2	3.2	3.2	3.0	
物価	消費者物価(yoy)	3.2	1.7	2.1	1.5	1.8	2.2	3.0	3.5	3.5	3.5	3.4
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	14.7	9.7	8.4	9.7	9.0	8.0	8.4	6.3	6.4	6.3	
	株価指数(総合)	1,531	1,689	1,867	1,672	1,774	1,769	1,867	1,849	1,836	1,849	1,872
	インターバンク金利(1M,%)	2.97	3.06	3.07	3.07	3.06	3.07	3.07	3.07	3.07	3.07	
	為替レート(リンギ/ドル)	3.06	3.09	3.15	3.08	3.07	3.24	3.21	3.30	3.31	3.28	3.26
	為替レート(円/リンギ)	26.0	25.8	30.9	29.9	32.1	30.5	31.3	31.2	30.9	31.2	31.5

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、鉱工業生産は2013年以降2010年基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2月	14/3月	14/4月
GDP (yoy)	実質GDP	3.6	6.8	7.2	7.7	7.6	6.9	6.5				
	個人消費	5.7	6.6	5.6	5.5	5.1	6.2	5.6				
	固定資本形成	2.0	10.4	11.7	15.6	13.2	11.9	7.0				
生産	鉱工業生産(yoy)	2.1	7.0	5.4	5.7	2.6	9.4	15.2	3.1	6.2	0.8	
消費	自動車販売台数(yoy)	15.9	10.6	15.7	28.9	12.2	14.1	10.7	22.9	16.5	25.4	19.9
輸出入	貿易収支(10億 ^{ドル})	12.2	10.0	5.7	1.0	1.2	1.9	1.6	1.9	0.1	0.1	
	輸出(yoy)	6.2	7.9	8.8	4.0	1.8	11.4	19.3	6.9	11.6	12.4	
	輸入(yoy)	10.1	2.7	0.5	6.9	0.2	7.8	0.6	12.0	1.7	9.6	
国際収支	経常収支(10億 ^{ドル})	5.6	6.9	9.4	1.7	2.1	1.9	3.7				
	外貨準備高(10億 ^{ドル})	75.3	83.8	83.2	83.9	81.3	83.5	83.2	79.6	80.5	79.6	79.8
雇用	失業率(%)	7.4	7.2	7.2	7.1	7.5	7.3	6.5	7.5			
物価	消費者物価(yoy)	4.7	3.2	2.9	3.2	2.6	2.4	3.5	4.1	4.1	3.9	4.1
金融	マネーサプライ(yoy)	6.3	10.6	33.4	13.4	20.6	31.7	33.4	35.7	37.1	35.7	
	株価指数(総合)	4,372	5,813	5,890	6,847	6,465	6,192	5,890	6,429	6,425	6,429	6,708
	国債(3ヵ月,%,期末)	1.56	0.20	0.00	0.08	0.90	0.87	0.001	1.000	1.458	1.000	1.44
	為替レート(ペソ/ドル)	43.3	42.2	42.4	40.7	41.8	43.7	43.6	44.9	44.9	44.8	44.6
	為替レート(円/ペソ)	1.84	1.89	2.30	2.27	2.36	2.26	2.30	2.29	2.27	2.28	2.30

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)。

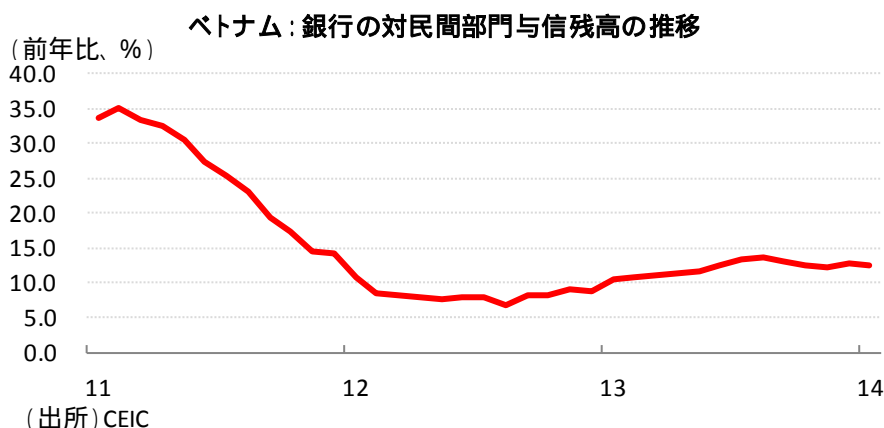
【シンガポールの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2月	14/3月	14/4月
GDP (yoy)	実質GDP	6.1	2.5	3.9	1.5	4.0	5.0	4.9	4.9			
	個人消費	4.3	3.9	2.6	2.9	2.8	2.6	2.1	2.8			
	総固定資本形成	4.3	8.9	1.9	4.6	1.8	3.4	4.6	1.1			
生産	鉱工業生産(yoy)	7.8	0.3	1.7	6.3	0.8	5.2	7.1	9.9	13.2	12.1	4.6
消費	小売売上金額(yoy)	9.7	4.6	4.8	3.7	0.3	7.2	7.8	4.2	9.8	3.8	
輸出入	貿易収支(10億 ^{ドル})	43.8	28.6	37.3	7.2	10.5	9.0	10.5	8.2	3.4	1.8	3.4
	輸出(yoy)	16.5	0.2	0.5	6.8	1.0	4.0	3.7	4.9	8.6	6.1	4.1
	輸入(yoy)	17.7	3.9	1.8	7.4	2.8	4.1	0.8	4.2	4.2	13.4	4.3
国際収支	経常収支(10億 ^{ドル})	62.6	50.2	54.6	11.0	15.2	14.8	13.5	12.8			
	外貨準備高(10億 ^{ドル})	238	259	273	258	260	268	273	273	274	273	275
雇用	失業率(季調値,%)	2.0	1.9	1.9	1.9	2.0	1.8	1.8	2.1			
物価	消費者物価(yoy)	5.2	4.6	2.4	4.0	1.6	1.8	2.0	1.0	0.4	1.2	2.5
金融	マネーサプライ(M2,%)	10.0	7.2	4.3	8.5	9.1	7.5	4.3	2.0	2.4	2.0	
	株価指数(S&P500)	2,646	3,167	3,167	3,308	3,150	3,168	3,167	3,189	3,111	3,189	3,265
	SIBOR(3M,期末値,%)	0.39	0.38	0.40	0.38	0.37	0.37	0.40	0.41	0.40	0.41	0.40
	為替レート(S\$ /ドル)	1.26	1.25	1.25	1.24	1.25	1.27	1.25	1.27	1.27	1.27	1.26
	為替レート(円/S\$)	63.4	63.8	77.9	74.5	79.0	78.0	80.3	81.0	80.6	80.7	81.7

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、輸出入伸び率は米ドル建てベース。

4. ベトナム経済の概況

- ・経済活動に緩やかながら持ち直しの動きがみえる。
- ・2014年1-3月期の実質GDP成長率は前年比5.0%と2013年通年の5.4%、また2014年政府目標の5.8%を下回り、低調なスタートとなった。
- ・しかし、4月の輸出は前年比30.3%増と好調であった。今やベトナムの輸出の16%（2013年）を占める主要輸出品目となった電話機・同部品が前年比68.6%増と大幅に拡大したほか、14年1月からEUの特恵関税の対象となった履物（シェア6.4%）が同34.0%増、また衣料品（シェア13.7%）も同26.7%増と好調であった。さらにシェアは5%以下と小さいもののコーヒー（前年比83.4%増）、野菜（同28.0%）、水産物（同30.9%）などの輸出も大幅に増加した。
- ・1-4月期の小売売上（名目）は前年比10.5%増と1-3月期（同10.2%増）から小幅加速した。内外需の堅調を背景に4月の鉱工業生産は前年比6.0%増と堅調に推移している。一方、不良債権問題から低迷していた銀行の与信残高の伸び率も緩やかに持ち直しつつあり、景気を下支えしているとみられる。



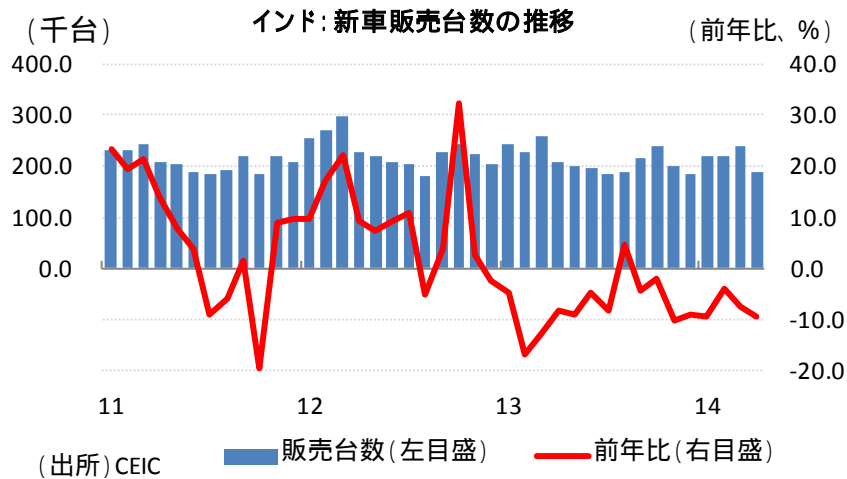
【ベトナムの主要経済指標】

	2011年	2012年	2013年	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2月	14/3月	14/4月	
GDP	実質GDP (yoy)	6.2	5.2	5.4	4.9	4.9	5.1	5.4	5.0			
	ytd	農業	4.0	2.7	2.7	2.2	2.1	2.4	2.7	2.4		
		工業・建設	6.7	5.7	5.4	4.9	5.2	5.2	5.4	4.7		
生産	鉱工業生産(yoy)	33.1	4.8	5.9	5.5	6.3	5.7	6.2	7.6	15.3	4.7	6.0
消費ytd	小売売上(名目、yoy)	24.2	16.0	12.6	11.7	11.9	12.5	12.6	10.2	11.6	10.2	10.5
輸出入	貿易収支(10億ドル)	8.9	2.0	0.4	0.1	1.2	0.9	0.6	0.7	0.6	0.2	0.8
	輸出(yoy)	33.1	20.0	16.5	19.2	14.6	15.8	16.8	12.2	33.5	11.3	30.3
	輸入(yoy)	24.4	7.9	18.2	20.2	18.1	15.9	19.0	10.4	39.4	7.8	11.8
国際収支	経常収支(10億ドル)	0.2	9.1									
	外貨準備高(10億ドル)	13.1	25.2	25.5	28.0	24.5	24.0	25.5				
物価	消費者物価(yoy)	18.6	9.3	6.6	6.9	6.6	7.0	5.9	4.8	4.7	4.4	4.4
金融	株価指数(VN index)	351.6	413.7	504.6	491.0	481.1	492.6	504.6	591.6	586.5	591.6	578.0
	プライムレート(翌日物:期末)	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	為替レート(ドン/ドル)	20,547	20,828	20,949	20,828	20,897	21,036	21,036	21,036	21,036	21,036	21,036
	為替レート(円/100ドン)	0.39	0.38	0.47	0.44	0.47	0.47	0.48	0.49	0.49	0.49	0.49

(出所) CEIC (注) yoy=前年比(%)、ytd=年初来累計ベース。

5. インド経済の概況

- ・ 外需に持ち直しの兆しが見えるものの、内需は低迷が続いている。
- ・ 4月の新車販売は前年比9.5%減と前月(同7.3%減)よりさらにマイナス幅が拡大した。2月に金利高などから不振の自動車産業をテコ入れするため物品税の引き下げが行われたが、総選挙の結果待ちという消費者の様子見の姿勢もあり、これまでのところ販売増加にはつながっていない。
- ・ 4月の輸出は機械類(前年比21.3%増) 医薬品(同10.4%増)などを中心に前年比5.3%増となった。一方、輸入は金の輸入関税引上げの影響などから同15.0%減となり、貿易収支の赤字幅は100.9億ドルと前月に比べて4億ドル縮小した。
- ・ 4月~5月にかけて行われた総選挙の結果、野党インド人民党が下院の過半数の議席を獲得して圧勝し、10年ぶりに政権が交代することになった。新首相に就任するモディ氏による経済改革によりインド経済が再活性化することが期待されている。



【インドの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2月	14/3月	14/4月
GDP (yoy)	実質 GDP	7.7	4.8	4.6	4.4	4.4	4.8	4.7				
	農業生産	6.3	1.9	3.1	1.6	2.7	4.6	3.6				
	実質 GDP (年度)	6.7	4.5									
生産	鉱工業生産(yoy)	4.8	0.7	0.6	2.2	1.0	1.9	0.8	0.5	1.8	0.5	
	消費											
輸出	新車販売台数(yoy)	5.7	9.8	7.6	11.6	7.4	3.1	6.9	6.9	3.9	7.3	9.5
	貿易収支 (10億ドル)	161.6	192.9	153.6	43.5	50.0	29.4	30.7	28.5	8.3	10.5	10.1
	輸出(yoy)	33.8	2.0	5.5	4.5	0.9	12.5	6.4	2.1	5.5	3.2	5.3
	輸入(yoy)	32.6	5.4	4.7	0.8	5.5	8.8	15.4	13.2	17.9	2.1	15.0
国際収支	経常収支 (10億ドル)	62.8	91.8	49.2	18.2	21.8	5.2	4.1	1.3			
	外貨準備高 (10億ドル)	262.9	261.7	267.7	259.7	254.4	248.8	267.7	276.4	266.9	276.4	283.7
物価	卸売物価(yoy)	9.5	7.5	6.3	6.7	4.8	6.6	7.1	5.3	5.0	5.7	5.2
	消費者物価(yoy)	9.6	9.7	10.1	10.7	9.5	9.7	10.4	8.4	8.0	8.3	8.6
金融	マネーサプライ (M3, yoy)	16.0	11.2	14.2	13.8	12.7	12.9	14.2	13.5	14.5	13.5	13.9
	株価指数(BSE Sensitive)	15,455	19,427	21,171	18,836	19,396	19,380	21,171	22,386	21,120	22,386	22,418
	TB3ヶ月	8.06	8.41	8.81	8.07	7.45	10.99	8.74	8.97	9.15	8.86	8.86
	為替レート(ルピー/ドル)	46.9	53.6	59.0	53.8	56.8	63.5	61.9	61.5	62.1	60.1	60.3
	為替レート(円/ルピー)	1.69	1.49	1.66	1.72	1.74	1.54	1.64	1.66	1.64	1.70	1.70

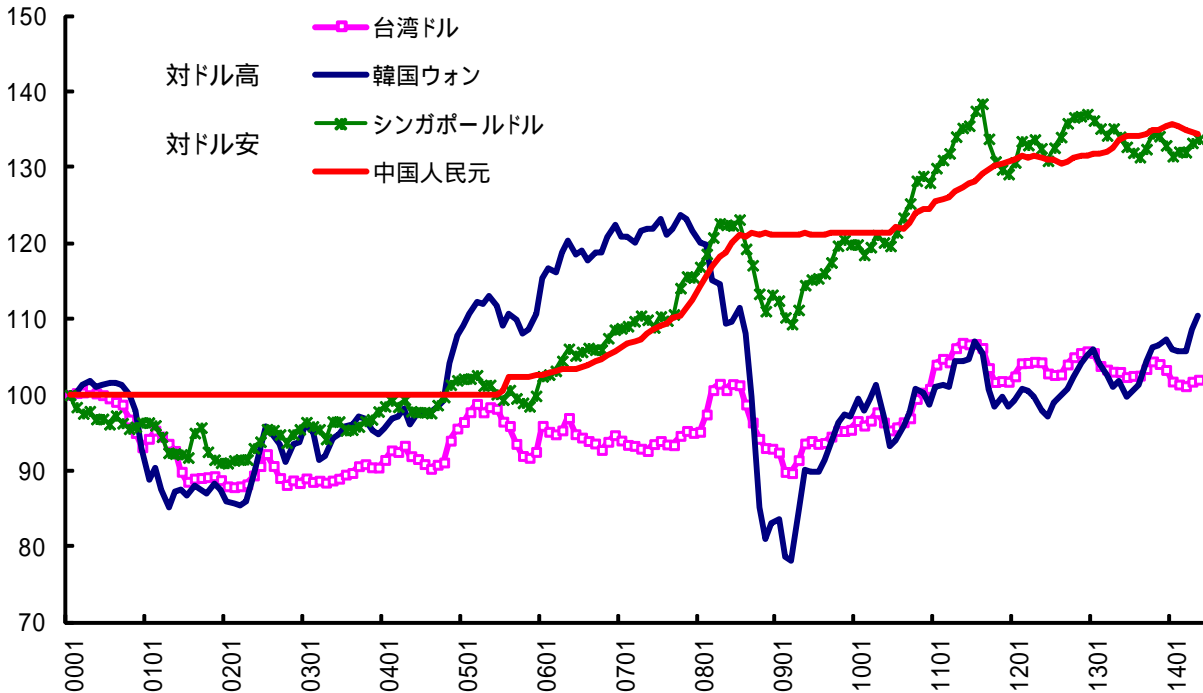
(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、年度は4月から翌年3月。新車販売は乗用車に限る。消費者物価は2011年から新系列。

・アジア通貨・株価動向

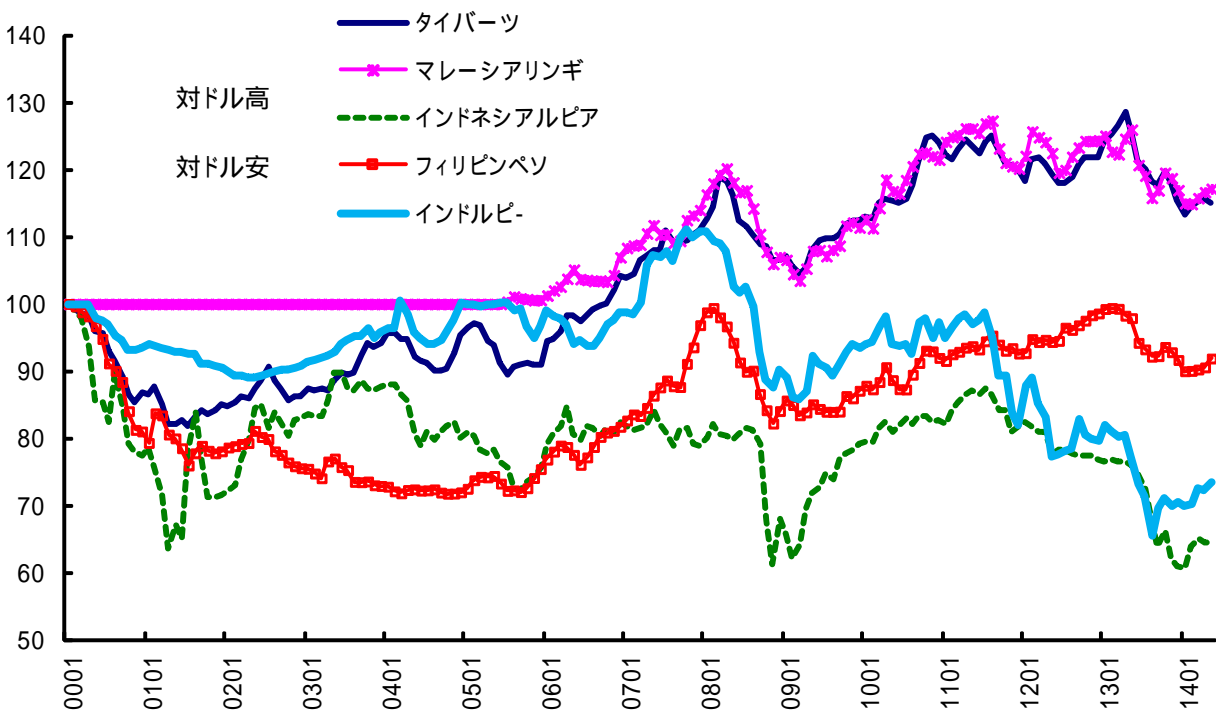
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)



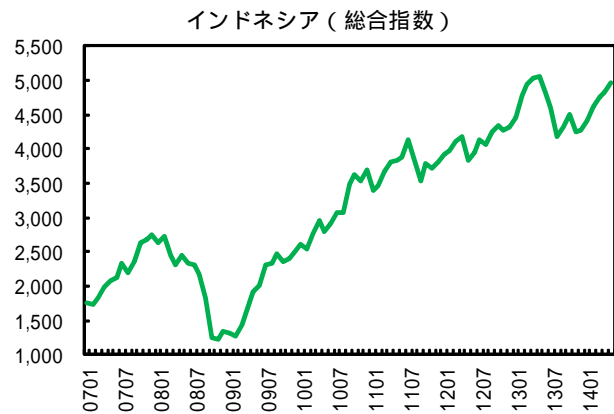
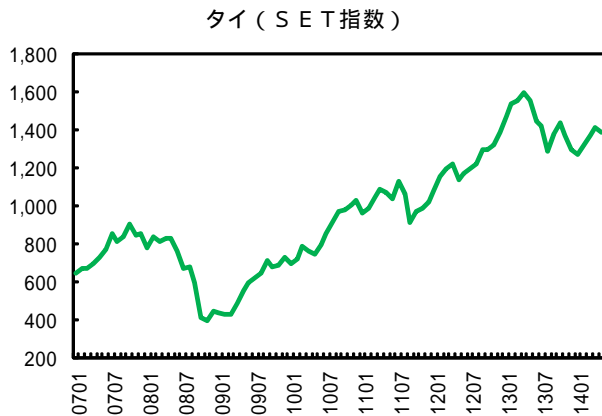
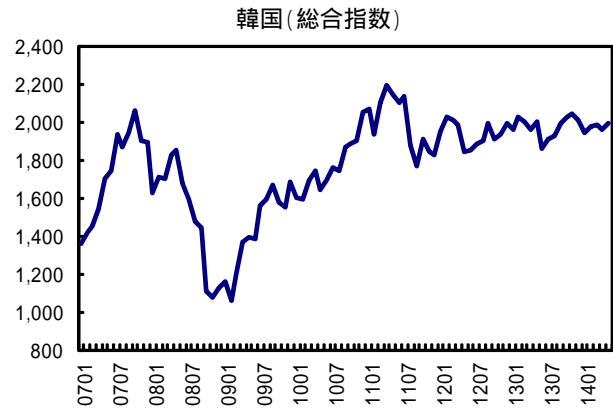
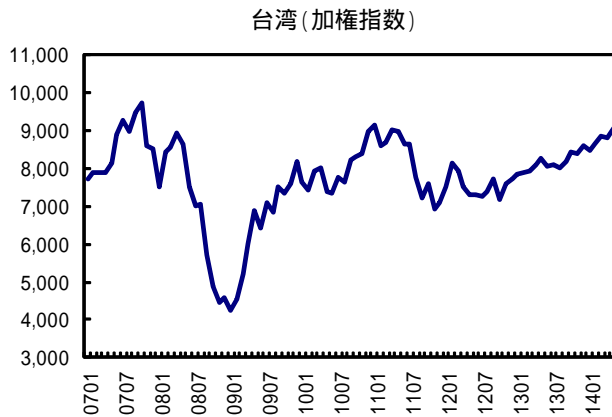
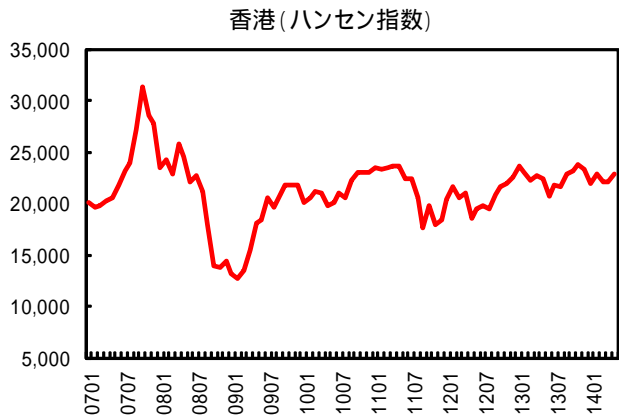
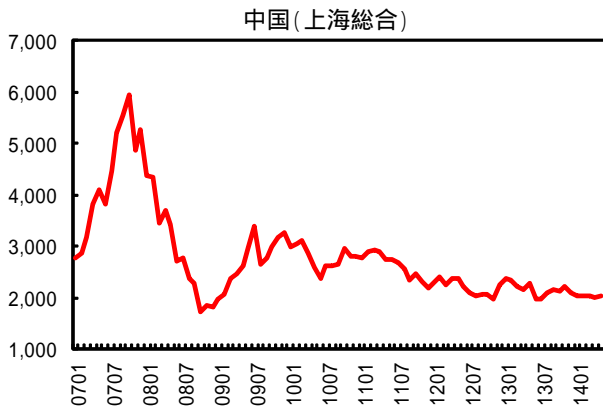
(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

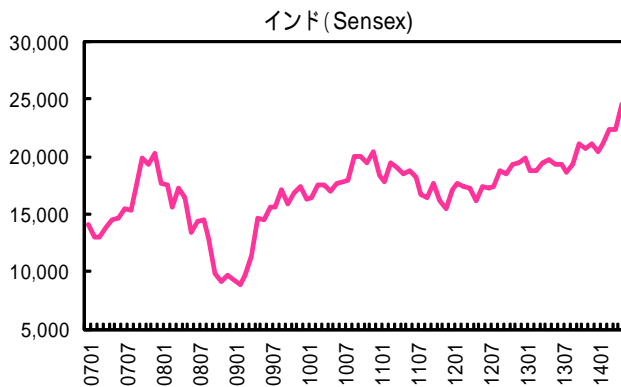
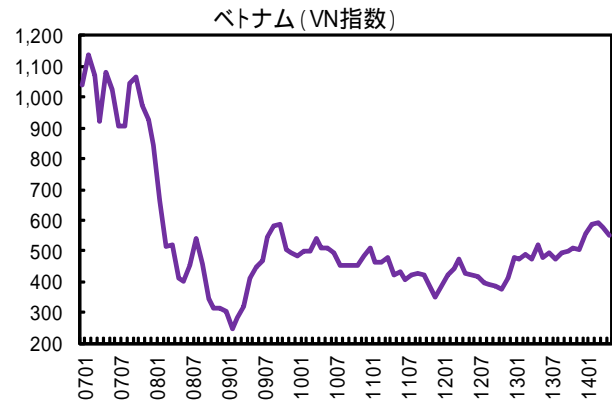
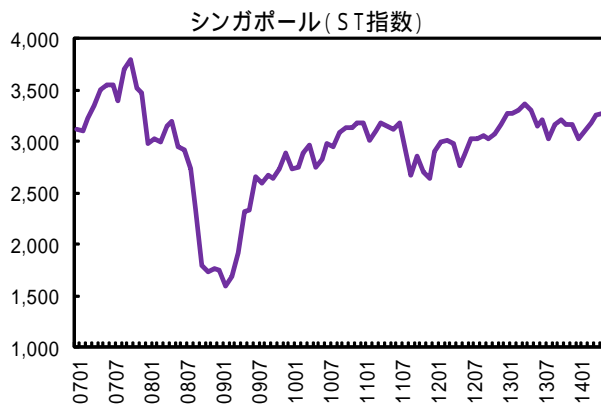
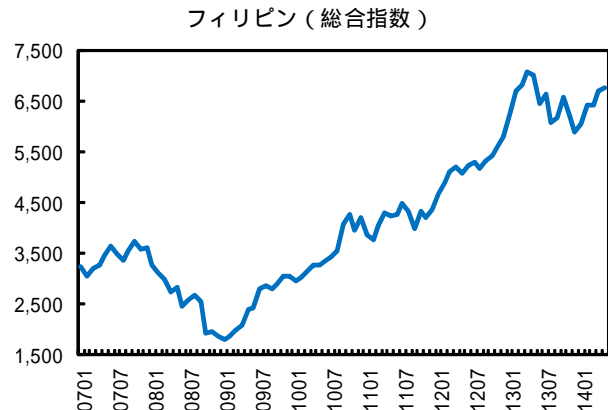
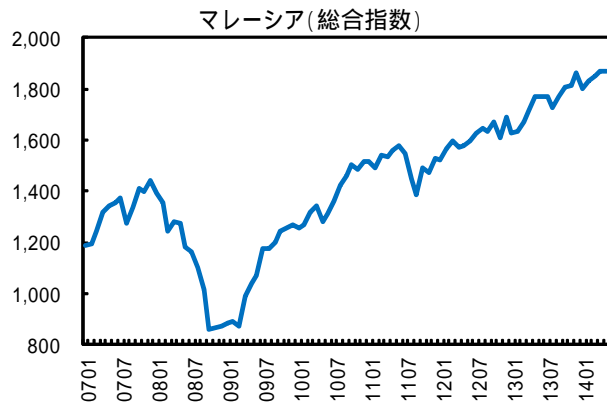
(注) 直近データは5/1-5/27(インドネシアルピアは5/26)の平均値。

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC (注) 直近データは5/27終値(インドネシアは5/26終値)。

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC (注) 直近データは5/27終値。

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡下さい。